



Yamaha CL5/CL3/CL1 V1.02 の仕様追加/仕様変更について

ヤマハデジタルミキシングコンソール CL5/CL3/CL1 (以下 CL シリーズ) をご愛用いただきありがとうございます。

CL シリーズのファームウェア V1.02 では、取扱説明書とリファレンスマニュアルが制作された時点から追加/変更された仕様があります。ここでは、追加/変更された仕様について説明します。

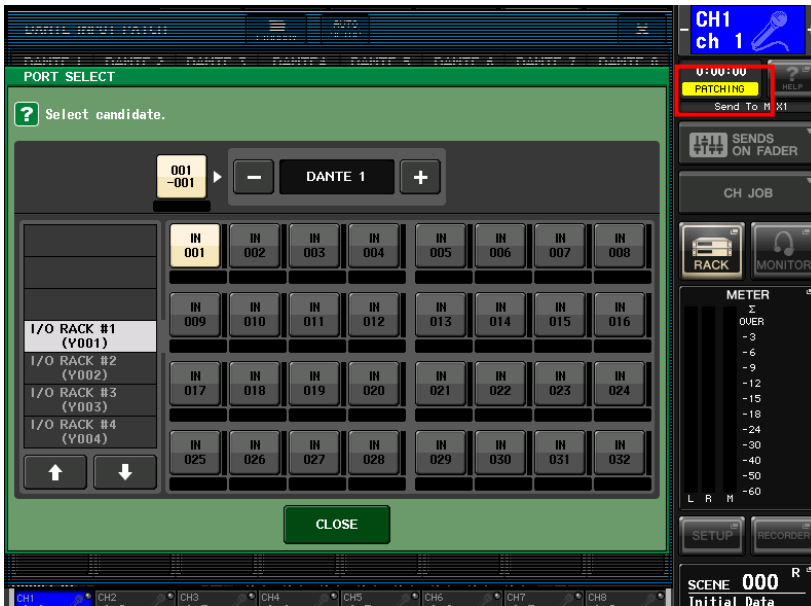
2UのPremium Rackのマウント制限 (リファレンスマニュアル P.127)

Premium Rack で 2U のプロセッサー (U76) をマウントするとき、奇数のラックにだけマウントできます。



PATCHインジケータの追加 (リファレンスマニュアル P.136)

ファンクションアクセスエリアのインジケータに、PATCHING インジケータが追加されました。

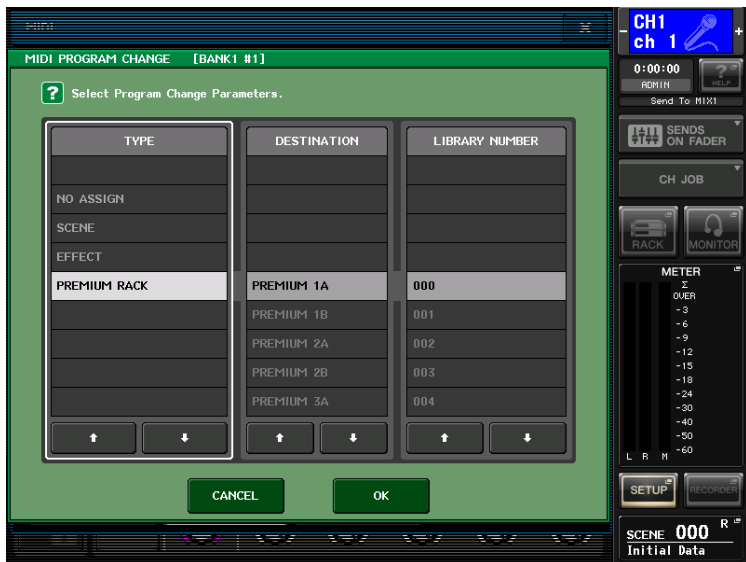


PATCHING インジケータは DANTE INPUT PATCH または I/O RACK OUTPUT PATCH を変更したときに表示されます。このインジケータが点灯している間は、連続してパッチを変更しないようにしてください。

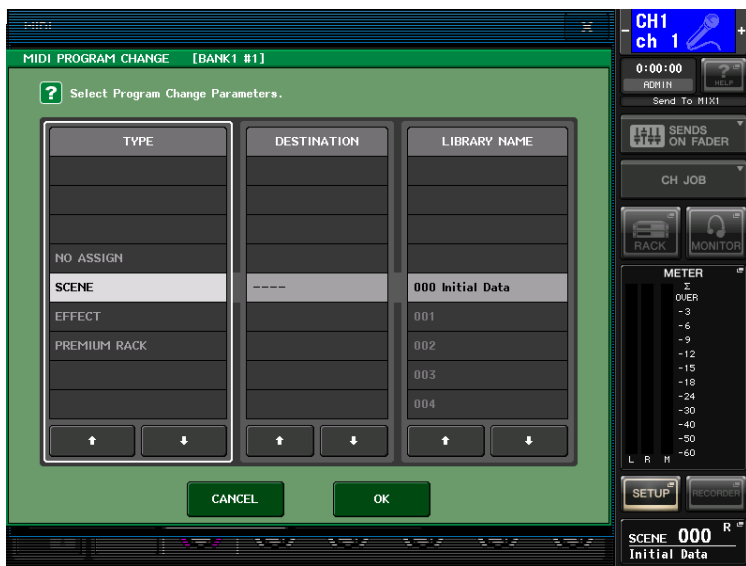
MIDIプログラムチェンジによるPremium Rackの操作 (リファレンスマニュアルP.148)

MIDI PROGRAM CHANGE ポップアップ画面で、Premium Rack の操作方法が変わりました。

TYPE で PREMIUM RACK を選ぶと、DESTINATION でラックナンバー、LIBRARY NUMBER でライブラリーの番号をそれぞれ指定できます。



また、これにともなって、TYPE で SCENE を選んだときの DESTINATION と LIBRARY NAME の表示も変更になりました。



設定ファイルのロード時のオプション追加 (リファレンスマニュアル P.170)

SAVE / LOAD 画面で、設定ファイルをロードするときに DANTE 設定を読み込むかどうかの設定ができるようになりました。



WITH DANTE SETUP AND I/O RACK ボタン

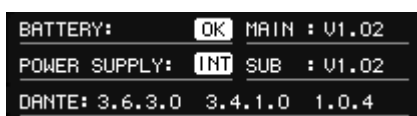
オフにすると、設定ファイルをロードしたときに DANTE SETUP と I/O ラックに関する設定を除外してロードします。

NOTE

DANTE SETUP 画面の SECONDARY PORT と CONSOLE ID の設定は、「WITH DANTE SETUP AND I/O RACK」ボタンがオンになっていても変更されません。

バージョン情報の表示 (リファレンスマニュアル P.184)

ファンクションアクセスエリアの SETUP ボタンを押して表示される SETUP 画面にあるバージョン情報の表示が追加されました。



表示されている項目は次のとおりです。

BATTERY: 内蔵バッテリーの状態（通常は YES、消耗時は LOW または NO）

POWER SUPPLY: 現在稼働している電源が内蔵(INT)か PW800(EXT)

MAIN: メイン CPU のバージョン

SUB: サブ CPU のバージョン

DANTE: DANTE モジュールのバージョン

NETWORK設定時の動作

(リファレンスマニュアル P.191)

ファンクションアクセスエリアの SETUP ボタン→NETWORK ボタンを押して表示される NETWORK ポップアップ画面で、設定を変更したあとは、本体の再起動が必要です。

NOTE

NETWORK 設定は、CL シリーズを初期化しても変更されません。

DANTE SETUP変更時の動作

(リファレンスマニュアル P.198)

●DANTE SETUP を変更したときに、設定の変更を本体に反映するまでの間 ACCESS インジケータが点灯するようになりました。

設定を変更したときに ACCESS インジケータが点灯するのは次の項目です。

- DANTE SETUP 画面のパラメーター
- WORD CLOCK 画面のパラメーター
- DANTE INPUT PATCH の変更、Library の操作、Auto Setup ボタンの操作
- I/O RACK 画面の OUTPUT タブのパラメーター

DANTE SETUP の変更を有効にするには本体電源の入れなおしが必要ですが、ACCESS インジケータが消灯してから電源をオフにしてください。

●DANTE SETUP 画面で SECONDARY PORT 設定や、CL シリーズや I/O ラックの ID を変更した場合は、電源の入れなおしが必要になります。次の手順で操作してください。

NOTE

SECONDARY PORT と CONSOLE ID の設定は、CL シリーズを初期化しても変更されません。

SECONDARY PORT設定の変更

1. CL シリーズ、I/O ラックの Dante 端子からイーサネットケーブルを外します。

NOTE

SECONDARY PORT 設定を変更する場合には、CL シリーズと I/O ラックの間の結線方法も変更が必要です。たとえば、REDUNDANT に設定したときの結線のまま DAISY CHAIN に変更すると、音声のやりとりができなくなります。設定を変更する前に、まずケーブルを抜いておくようにしてください。

2. CL シリーズの REDUNDANT 設定と I/O ラックのディップスイッチの設定を確認します。
3. CL シリーズと I/O ラックの電源を入れなおします。
4. 約 1 分待ってから、先に I/O ラックの Dante 端子のイーサネットケーブルを接続してから、20 秒ほど待って最後に CL シリーズの Dante 端子にイーサネットケーブルを接続します。

IDの変更

1. CL シリーズの電源をオフにします。
2. I/O ラックの電源を入れなおします。
3. 約 1 分待ってから CL シリーズの電源をオンにします。

NOTE

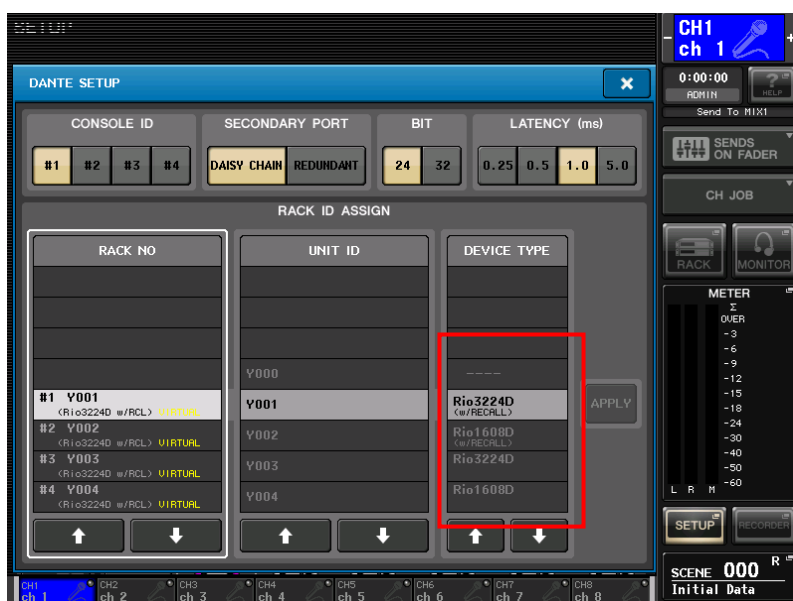
CL シリーズの電源をオフにできない場合は、I/O ラックの Dante 端子からイーサネットケーブルを抜いてネットワークから切断した状態で I/O ラックの電源を入れなおし、約 1 分待ってからイーサネットケーブルを接続してください。

シーンリコールの対象となるI/Oラックの設定 (リファレンスマニュアル P.198)

CL シリーズを起動したときとシーンリコールを行なったときに、CL シリーズに保持されている情報をどの I/O ラックに反映するかを、CL シリーズごとに設定できます。複数の CL シリーズがある場合は、1 台の I/O ラックに対して、1 台の CL シリーズだけからシーンリコールされるように設定してください。

手順は次のとおりです。

1. ファンクションアクセスエリアの **SETUP** ボタンを押します。
2. **DANTE SETUP** ボタンを押して、**DANTE SETUP** 画面を表示します。



3. **DEVICE TYPE** リストで、現在設定している CL シリーズからリコールしたい I/O ラックの **DEVICE TYPE** を (w/RECALL) と書かれた I/O ラックに設定して、**APPLY** ボタンを押します。

4. ほかの CL シリーズでも同様に、リコールを反映したい I/O ラックの **DEVICE TYPE** を設定します。

NOTE

- ・ I/O ラックの設定 (BIT/LATENCY/W.CLOCK) は、CONSOLE ID が #1 に設定された CL シリーズのものが反映されません。
- ・ I/O ラックの HA などは (w/RECALL) を設定していない CL シリーズからも操作できます。
- ・ ある CL シリーズで (w/RECALL) を設定した I/O ラックに対して、他の CL シリーズで (w/RECALL) を設定しないでください。